# フィプロニル水和剤

# プリンスフロアブル

取扱メーカー: BASE

原体メーカー: BASE

成分:フィプロニル [フェニルピラゾール系 PRTR・1 種] …5.0%

性状:淡黄色水和性粘稠懸濁液体

毒性:劇物 消防法:—

#### 

- ●従来の殺虫剤とは異なる作用機作を有し、既存 剤に抵抗性の発達した害虫にも優れた効果を発揮 する。
- ●低薬量で高い効果を発揮する。
- ●コナガに対し優れた効果を示し、10日前後の 残効が期待できる。
- ●キャベツのセル成型育苗トレイの定植前灌注処 理で、定植後のハイマダラノメイガに対して優れ た効果を示す。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】………

- ●使用の前に容器をよく振る。
- ●希釈時には十分撹拌する。まず少量の水で希釈 し、次に所要量の水を加えてよくかきまぜるのが 望ましい。
- ●かけ残しのないように葉の表裏に十分に散布す る。

### 【薬効・薬害等の注意】…………

- ●散布量は対象作物の生育段階に合わせて調整す る。
- ●適用作物 (カーネーション) への薬害などの注 意は「薬害注意事項解説」を参照。

#### 【安全対策トの注意】 …………

- ●魚類、甲殻類に影響を及ぼすので、使用時並び に使用後も注意。
- ●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意す
- ●桑葉にかからないようにする。
- ●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を 参昭。
- ●眼に対して弱い刺激性があるので注意する。
- ●皮膚に対して刺激性があるので注意する。
- ●散布の際は、防護マスク、手袋、不浸透性防除 衣などを着用する。
- ●施設内で使用する場合、十分に換気してから施 設内に立ち入る。
- ●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処 理する。











## 

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	フィプロニルを含む 農薬の総使用回数
なたね	コナガ	3000倍	100 ∼ 300 ℓ	14日前まで		散布	1回
	ハイマダラノメイガコナガ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 (30×60cm, 使用土壌約3 ~4ℓ) 当り0.5ℓ	定植前まで	1回	灌注	
キャベツ	アオムシ ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ タマナギンウワバ オオタバコガ キスジノミハムシ	2000倍	100 ∼ 300 ℓ	14日前まで	2回以内	散布	3回以内 (定植前の処理 は1回以内,
	ハイマダラノメイガコナガ	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 又はペーパーポット1冊 (30×60 cm, 使用土壌約3 ~4ℓ) 当り0.5ℓ	定植前まで	1回	灌注	定植後の散布は2回以内)
はくさい	アオムシ ハイマダラノメイガ ネギアザミウマ キスジノミハムシ ケナギンウワバ オオタバコガ			21日前まで			
チンゲンサイ カリフラワー	コナガ	2000倍	100 ∼ 300 ℓ	30日前まで 14日前まで	2回以内	散布	2回以内
ブロッコリー	コナガ ハイマダラノメイガ			30日前まで			(定植前の処理 は 1 回以内, 定植後の散布 は 2 回以内)
未成熟とうもろこし	アワノメイガ オオタバコガ			14日前まで			2回以内
てんさい	テンサイトビハムシ	50倍	ペーパーポット1 冊当り 1 ℓ (3ℓ/m²)	定植前まで	1回	苗床 灌注	1回
ストック き く カーネーション ば ら	コナガ アザミウマ類 オオタバコガ ミカンキイロアザミウマ チュウレンジハバチ	2000倍	100 ∼ 300 ℓ	発生初期	5回以内	散布	5回以内